

# 資質・能力の三つの柱に沿った、職業に関する専門教科において育成すべき資質・能力の整理 (たたき台)

平成28年2月1日  
教育課程部会  
産業教育WG資料7

	個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)	思考力・判断力・表現力等 教科等の本質に根ざした見方や考え方等 (知っていること・できることをどう使うか)	学びに向かう力、人間性等 情意、態度等に関わるもの (どのように社会・世界と関わりよりよい人生を送るか)
産業教育 全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>各職業分野で求められる基礎的・基本的な知識や技術</li> <li>各職業の社会的意義や役割の理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各職業分野に関わる課題に対して、職業人としての倫理観をもって、主体的・協働的に取り組み、合理的かつ創造的に解決する能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業・社会を支える職業人として必要な豊かな人間性</li> <li>産業の振興や社会に貢献しようとする態度</li> <li>社会の変化に対応して学び続ける態度</li> </ul>

## (\*)身に付けた知識・技術の活用や、探究する際の視点の例(教科等の本質に根ざした見方や考え方等)

- 産業・社会の課題について関係する人との対話や、物・事象等の観察により課題を多面的に把握する。
- 地域・企業等との連携を深め、協議やシミュレーション、実験・実習等を行い、より良い解決方法を探究する。
- 関係する法令等を遵守するとともに、職業人として果たすべき役割や責任を踏まえ、解決策を決定する。
- 課題解決の過程においては、科学的原理、経済性、社会資源及び環境への影響等を踏まえ、人々の健康や快適な生活の実現、社会の発展に寄与する生産物や製品、サービスを工夫・創造する。

【参考：教育課程企画特別部会 論点整理(平成27年8月26日)・参考資料(検討中)】

問題発見・解決の  
プロセス

